

社会福祉法人中央会

平成24年度 特別養護老人ホームゆうけあ相河 事業報告

1. ユニットケアの充実
ユニットリーダー研修に2名が参加し、各ユニットにリーダー研修終了者が揃った。
2. 特養における「看取り」
委員会を立ち上げ実践整備、研修会開催などに取り組み、平成24年度では1名の入居者の看取りを行った。ご家族にとって納得のいく最期の看取りが行えた。今後も慣れ親しんだ施設、職員たちの中での穏やかな尊厳死への取り組みを行っていく。
3. 各委員会の活動推進
各委員会の目標に基づいた活動計画を各事業所において実行するように努力したが、委員会によって積極性において差があった。
4. 各種会議の質の向上
すべての職員がゆうけあ相河の向上に向かって各自の役割を積極的に担っていく。そのため会議においては積極的に発言・進行に協力し、PDCAサイクルにより改善のステップアップが図れる運用を目標にしており少しずつではあるができてきている。
5. 地域交流の推進
 - ① ボランティア委員を設置しボランティア企画の充実を行った。
 - ② お年寄り地域福祉支援センターありまつ主催の地域サロン「あいこの会」を地域交流室で定期的に開催した。2年目に入り参加者が固定化してきたため、今後は広く参加を呼びかけていく。
 - ③ 地域の方や家族を招待した第2回「秋祭り」を開催。スムーズに進行でき、催し物については好評だった。次回は出店のメニューなどに工夫を行う。
 - ④ 介護の日にちなんで「介護フェスタ」「文化祭」を実施。地域の方に介護への理解と認識を深めてもらうことを目的に、介護よろず相談、金沢市地域包括支援センター主催での地域ネットワーク会議、利用者様・家族様手作り作品展示会などを行った。
 - ⑤ 米泉福祉推進委員会で「身近な家族に介護が必要になった時」というテーマで事例を紹介。介護への理解を深める講座を行った。
 - ⑥ 西泉保育園の園児が定期的に歌とお遊戯の慰問にきてくれるようになった。
 - ⑦ 金城大学社会福祉学部主催による「もっと知ろう！認知症」講座を地域住民対象に定期的に開催している。

6. 家族会の発足

- ① 平成24年7月22日第1回家族会を発足
特別養護老人ホームの入居者とその家族の施設に対する助言・要望を聴き、また家族との連携及び協力を行うなどの交流の機会を設けた。
- ② 平成25年3月17日第2回家族会
権利擁護センターぱあとなあ石川より講師を招き「成年後見制度を知ろう」というテーマで講演会を開催した。

7. 経営基盤の強化・確立

- ① 事業活動収入は、4%の増収となっている。
- ② 事業活動支出は、6%増であり人件費・法定福利費などが増えたことが大きな原因である。
- ③ 経常収支差額は平成23年度の80.6%になっている。
- ④ 課題として、特養入居者は介護度・医療度が高いため入院が頻回となり特養で稼働率が上がらないことが挙げられる。特養の空床をショートステイのご利用者で活用したいがショートステイ自体の稼働率が97.5%である。ショートステイ・デイサービス・小規模多機能はサービスの質向上と工夫、事業所間の連携によりさらに集客を図る必要がある。

事業所（定員）	人数	平成23年度	平成24年度
特養 （定員29人）	延べ入居者数／年	9,762	9,600
	平均入居者数／日	26.7	26.3
	稼働率	92%	91%
	平均介護度	4.3	4.4
	事業所収入	134,030,650	133,684,075
ショート （定員20人）	延べ利用者数／年	6,682	7,099
	平均入居者数／日	18.2	19.5
	稼働率	91%	97.5%
	平均介護度	3.1	3
	事業所収入	85,788,463	92,232,297
デイサービス （定員35人）	延べ利用者数／年	6,680	7,060
	平均入居者数／日	21.2	22.8
	稼働率	60.5%	65.1%
	平均介護度	1.9	1.8
	事業所収入	57,563,294	60,142,522
小規模 （定員25人）	延べ契約者数／年	212	258
	稼働率	73.6%	89.5%
	平均介護度	2.7	2.4
	事業所収入	53,440,607	58,483,892

8. 特別養護老人ホーム入退所（定員29名）

年度	月	新規入所者				退所・入院者						
		在宅	その他 (他施設から 転入等)	病院	計	社会復 帰	家庭復 帰	医療機 関入院	他施設 へ転出	死亡	その他	計
平成24年度	4									2		2
	5			2	2							
	6											
	7											
	8									1		1
	9	1			1							
	10											
	11	1	1		2					3		3
	12	1			1					3		3
	1	1	1	1	3					2		2
	2	1	1		2			1	1			2
	3	2			2					1		1
計	7	3	3	13			1	1	12		14	

9. 救急車搬送状況

年度	月	件数	部署	状況
平成24年度	6	2	特養	意識状態悪化、脳幹出血
			特養	呼吸状態悪化、肺炎
	7	1	ショート	呼吸状態悪化、誤嚥
	10	4	デイサービス	呼吸状態悪化
			小規模	胸痛、狭心症
			特養	窒息
			特養	意識消失
	11	1	特養	心停止、心不全
	12	3	特養	呼吸状態悪化、肺炎
			特養	呼吸状態悪化、肺炎
			特養	心肺停止
	1	2	ショート	呼吸状態悪化
デイサービス			窒息	
合計		13		

10. 事故発生状況

[H24年4月1日 ~ H25年3月31日]

部署	件数	状況	
特養	4	右大腿骨骨折	もともと強度の骨粗鬆症。起床時に痛みがあり、骨折の発見をする
		胃ろう抜去	職員がシャツを捲る際、胃ろうチューブを引っかけてしまい抜去
		窒息	バイキング食中にご自分で食べたブロッコリーで誤嚥し窒息死亡
		窒息	仏壇のご飯をご自分で食べ一瞬窒息状態となるが、すぐに回復
ショートステイ	4	左大腿骨骨折	自分でズボンをはこうとした際、バランスを崩し転倒骨折
		内服薬忘れ	糖尿病薬の内服忘れにより高血糖に陥った
		腰椎圧迫骨折	自力歩行時バランスを崩し尻もちをつくように転倒骨折
		窒息	むせもなく食事摂取したが、不顕性誤嚥しており窒息死亡
小規模	1	前頭部裂傷	ポータブルトイレに座ろうとして転倒
デイサービス	1	右大腿骨骨折	自力歩行時バランスを崩し転倒骨折

11. 職員の採用・退職の状況

[H24年4月1日 ~ H25年3月31日]

年度	職種別		施設長	事務員	直接処遇職員			栄養士	療養士	理学療法士	作業療法士	宿直	合計
	採用	退職			相談員	生活介護	介護職員						
24年度	年度中	採用				1 (1)	1	2 (1)				(1)	2 (2)
		退職				4 (2)	2	6 (2)					6 (2)
	3月末職員数	1	1 (1)	4	32 (19)	5 産休1	44 (20)	1	(1)	(1)	(2)	45 (24)	

()はパート等非常勤人数

12. 施設職員の研修状況

[H24年4月1日 ~ H25年3月31日]

	内容・状況
新人研修	1回 (12人)
施設外研修	49回 (延べ112人)
施設内研修	28回(延べ540人) 身体介護技術 (移乗・入浴・着脱介助、食事介助) ・排便メカニズムと排泄介助 紙おむつの使い方のポイント・排尿メカニズムと排泄介助・看取り介護について 緊急時の看護と介護の連携について・事故防止のための注意点 感染症対策 褥瘡対策について・身体拘束廃止・認知症ケアで大切なこと プライバシー保護 倫理法令遵守・非常災害時の対応